令和４年度 事業報告
【 特別養護老人ホーム　上牧の郷 】

＜数値目標＞

1. 入居稼働率 98%目指します
2. 職員定着率 100%を目指す
3. １日１件見過ごしているヒヤリハットに気づく

＜報告＞

1. 入居稼働率 99.9%、実稼働率 96.0%

   7 月 22 日から約 1 ヶ月に及ぶクラスターの影響で、8 名の方が入院されました。また、その最中と体制を立て直すまでの間に看取り中の方が 3 名ご逝去され、8 月の稼働率は 79.1%とかなり低い稼働率となりました。その後、9 月は 91.5%、10 月以降は 90%台後半と回復しておりますが、通年を通すと目標を達成することができませんでした。
2. 職員の退職者は 4 名、定着率は 84%で達成できませんでした
3. 年間 44 件（平均 3.7 件/月）と達成できませんでした。

＜行動目標＞

1. ユニットケアの考え方に則って　入居者様の意思が尊重されるケアを実施する。
2. 入居者様の笑顔のために新しいことにチャレンジしていく
3. より良いサービス提供のため、より良いチームワークを構築する。

＜報告＞

上半期はクラスターが発生したこともあり、感染対策を強化せざるを得ない状況が続いたことで、レクリエーションや研修の開催は限定的なものとなりました。一方、クラスターを経験したことで、悔いの残らないケアの大切さを再認識し、具体的に何ができるのかを各ユニット内で検討・実行するようになりました。実際、入居者の誕生日にご家族様と一緒に過ごす時間を創ることについては、特に力を入れて取り組んでいます。

しかしながら、この数年に及ぶ新型コロナウィルス感染症の影響で、職員の入退職の増加、遠のく家族様との距離という環境の中で、本来の特養のケアが崩れてしまっていることも事実です。この状況を打開すべく、面会については、家族様が居室まで入っていただけるよう工夫したところ、少しずつですがコロナ前の雰囲気が戻ってきたように感じています。

また、令和 4 年度に職員 2 名がユニットリーダー研修に参加しました。これまで以上に、利用者様本位のケアができるよう、チームとして取り組んでいます。今後は、ケアの方法をより悩まなくて良いように、詳細なケア方針を整備することとしております。さらには、職員のスキルアップのために、様々な研修にも積極的に取り組んで参ります。